



灘小学校

やってなんぼ？ 話し合っなんぼ？

文部科学省は、「未来の創り手となるために必要な資質・能力を育むためには、組織的・継続的に、地域と学校が連携・協働していくことが大変重要です。具体的な取組としては、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）や地域学校協働活動の一体的推進が重要です。」と述べています。

一体的推進とは、どのような姿なのでしょう。灘小学校の第1回学校運営協議会で、そのヒントをたくさん見つけましたので、いくつか紹介します。

【灘小学校】前向きで、具体的で、実現可能な話し合い（熟議）

① 学校運営協議会委員が、司会進行をすべて行っている

- ・ 会長挨拶，自己紹介，運営協議会推進構想に係る計画，学校経営基本構想（この項目のみ校長が説明），意見交流・協議と流れるように会は進んだ。

- ・ 金子芳彦 会長は挨拶の中で「活動をもっともっと発展させたい。マンネリ化にならないようにしたい。コロナ禍ではあるが宿題サポートなどは再開してもいいのではないか。」など前向きな姿勢を示され，会議も具体的で実現可能な意見がどんどん出されていった。



金子 芳彦 会長

② 学校運営協議会委員が、地域学校協働活動に本気で取り組んでいる

- ・ 地域のスポーツ活動指導者のAさん

…会議開始直前までグラウンドで子供へ直接指導し，汗をふきながら，「私は，いつも子供にエネルギーをもらっています。」と嬉しそうに話し合いに参加

- ・ 主任児童委員・保護司（灘地区社会福祉協議会理事）のBさん

…自分が関わった学校不適應気味だった子供の成長を，自分のことのように喜んだり，自ら挨拶するようになった子供の変容に安どの表情を見せたりしながら話し合いに参加



建設的な話し合い

③ 学校運営協議会委員が、地域協育ネット協議会委員を兼ねている

- ・ コーディネーター（灘地区社会福祉協議会理事）のCさん

…みんな元気Da ネット（灘中学校区地域協育ネット）協議会での話し合いの内容を報告

→ 灘地区人材バンク＜対象は，灘小，中洋小，灘中＞への登録について募集をかける（自治会の回覧で回す）こと，連合自治会で通学路の交通指導を始めたこと等



活動の様子が

一目でわかるCSルーム

コミュニティ・スクールと 地域学校協働活動の 一体的推進とは！

① 地域住民と学校が，互いを知ることから始める

挨拶＋一言 → 「こんにちは」＋「困っていることありませんか？」

② 目指す子供の姿は，しっかりと共有しながら，活動はできることから始める

子供の良さを生かす → 「〇〇できれば，子供は変わるかも？」

〇〇ならいいなの「ゆるいつながり」から「かたいつながり」に